米の栽培履歴はきちんと記帳しましょう。

③ 水田の還元化（ワキ）の対策について

- 田植え後の急激な気温の上昇で、以前よりワキの影響が顕著に出ています。
- 以下のような場合は、早期に落水し対策をしてください。
  - ◇田に入ると、足元でブクブクと泡が出て、臭いがする。（軽度）
  - ◇田に入ると、足元だけでなく少し離れたところからも泡が出る（中度）
  - ◇水面が汚くなり、表層剥離をしているように見える（被害あり）
  - ◇稲の下葉の色が落ちて、黄色または茶色になっている（重度）
- 田植え後の対策は「落水」しかありません。ワキによって土壌の酸素が奪われ、有害ガスの影響で根が伸びず、生育が止まってしまいます。落水することで、有害ガスを抜き、根に酸素を与えましょう。

①軽度なワキの場合は一夜干し（夕方落水・早朝入水）を数回繰り返す。
②中度以上は1～2日落水する
③さらに激しい場合は、軽くヒビが入るぐらい落水する。

上記の対策のうち②、③では除草剤の効果が切れてしまうので、入水後に再度除草剤を散布することも必要になります。

- 田植え後に施用した薬剤と同じものではないですか？（成分の使用回数の制限があります）
- 使用日の登録はあっていますか？（使用前に必ず農薬のラベルを確認！）
- 除草剤には「発芽を抑えるもの」と「生じた雑草を枯らすもの」の種類があるので、JAもしくは農業改良普及センターに問い合わせてください。

中丹米の食味向上に取り組む

日本穀物検定協会が実施する「全国食味ランキング」において、丹波コシヒカリとして「特A」の獲得を目標に産地全体の品質向上を目指して「おいしいお米づくり運動」を進めます。

今年もあります！

第4回 京のプレミアム米コンテスト

京都府主催の「京のプレミアム米コンテスト」が開催されます。中丹の米のおいしさを広く知ってもらえるように、積極的に出品しましょう。応募は8月を予定しています。

くわしくはJA・農業改良普及センターへお問い合わせ下さい。